

# エフモル<sup>®</sup>05

(吹付/左官用、ひび割れ低減タイプ)

NEXCO構造物施工管理要領 断面修復材 (左官工法・吹付工法) 品質規格適合

## 認定・登録

- ◆ NETIS (国土交通省新技術情報提供システム) 登録番号 『HK-110049-VE』 ※掲載終了技術
- ◆ ARIC (農業農村整備民間技術情報データベース) 登録番号 『1001』
- ◆ グリーン購入法特定調達品目『高炉スラグ骨材』使用
- ◆ 道産建設資材データベース登録: 商品コード 『00503』
- ◆ 北海道新技術情報提供システム登録

## 特長

1. 優れた耐久性 (耐塩害性、耐凍害性、化学抵抗性)
2. 優れたひび割れ抵抗性
3. 吹付施工時のポンプ圧送性が良好
4. コンクリートとの高い付着性能を実現
5. 収縮が少ない

## 用途

- ◆ 土木構造物 (橋梁、ダム、ボックスカルバート、トンネル覆道部、擁壁、用排水路など)
- ◆ 建築構造物 (コンクリート補修など)
- ◆ 港湾構造物 (護岸、防波堤など)

## 配合

	粉体※1	水※1	粉体※2	水※2
1袋配合	20kg (1袋)	3.1~3.6L	12.5kg (1袋)	1.95~2.25L
1m <sup>3</sup> 配合	1,775kg (89袋※3)	298L	1,775kg (142袋)	298L
可使時間	約60分			

※3 小数点以下切上げ

## 荷姿

※1 20kg紙袋詰

※2 12.5kg紙袋詰

## 物性値 (養生: 20°C、材齢: 28日)

試験項目	測定値	試験方法
流動性 (フロー値) (mm)	155	JIS A 1171 : 2000
硬化収縮性 (長さ変化率) (%)	0.027	構造物施工管理要領 試験法432
圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	51.2	
付着強度 (N/mm <sup>2</sup> ) 湿潤時	2.3	
凍結融解性 (%)	101	構造物施工管理要領 試験法432
熱膨張係数 (×10 <sup>-5</sup> °C)	1.29	

## 下地処理

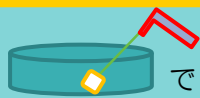
- 清掃、脆弱部の除去、鉄筋防錆処理、ひび割れ処理、漏水処理など
- 脆弱部除去後、施工面を湿潤状態にしてください。湿潤状態にすることが難しい場合等は吸水防止の処置を行ってください。

## 練混ぜ



モルタルミキサ

または



ハンドミキサ（低速用）

で **3分以上** 練り混ぜる

推奨ハンドミキサ



推奨攪拌羽（箱型）



- 使用水量は、※1 **20kg袋**は1袋当り **3.1~3.6L** の範囲内です。
- 使用水量は、※2 **12.5kg袋**は1袋当り **1.95~2.25L** の範囲内です。
- 練混ぜ水は、水道水またはこれに準ずる水を使用してください。
- 袋単位で練混ぜてください。小分けして使用しないでください。
- 材料温度、現場温度などによって使用水量は範囲内で変化します。
- 必ず使用前に試し練りを行い、適切な水量を決定してください。
- プレミックス製品ですので、他のセメント、砂、混和剤などを加えないでください。

## 吹付・左官

- 標準施工厚： 天井面：10~20mm程度 側壁面：10~40mm程度
- 吹付の場合、必ずセメントペーストをホース内に通してから材料を圧送してください。
- 吹付ホースを連結する場合、必ず同じ径のホースで連結してください。
- 吹付時、ノズル先からセメントノロが下方に多く飛び場合、吹付空気圧を調整してください。

## 養生

- 風や直射日光、降雨、外気温の影響を避ける養生管理を行なってください。

## 使用上の注意

- ご使用前に、必ずカタログおよび施工要領書をお読みください。
- 吸湿性を有する粉末品ですので、セメントと同様に水に濡れないようできるだけ屋内で保管してください。屋外で保管する場合は、地面に直接置かず台座などを用いて湿気を避けるように保管してください。
- 一度開封したものは使い切るようにしてください。開封状態で保管したものを再度使用しないでください。
- 使用に際しては、保護具（防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋など）を着用してください。
- エフモルは水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 目や口に入った場合は、清水で十分洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
- 5℃未満が考えられる場合は、凍害防止のため採暖養生等を行ってください。
- 皮膚に付着した場合は、清水で十分洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
- 廃棄する場合は、都道府県の許可を受けた処理業者に処理を委託してください。

※本書に記載されたデータは、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データに基づくものです。実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

※本書の記載事項は、新しい知見などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

（製造元）株式会社 エフモル工業

【本社】〒062-0052

北海道札幌市豊平区月寒東2条17丁目3-75

TEL: 011-595-7085 FAX: 011-853-0220

【東京営業所】〒155-0031

東京都世田谷区北沢3-2-11 レガール東北沢3-8

TEL: 03-3481-9177

【浦河工場】〒057-0002

北海道浦河郡浦河町字西幌別512

TEL: 0146-28-1318 FAX: 0146-28-1832